



日本共産党平塚市議会議員団

電話 0463-23-1111 (内線 2375)

平塚市浅間町9-1 平塚市議会控室

No.1129 2011年7月24日発行

日本共産党平塚市議会議員団

団長 渡辺敏光

電話・fax 31-6431

w-toshi@agate.plala.or.jp

松本敏子

電話・fax 59-4607

mail@matsumoto-toshiko.jp

高山和義

電話・fax 31-4638

k.takayama@mb.scn-net.ne.jp

日本共産党議員団の法律相談

今回は9月3日(土)です。

午後1時から (要予約)

2012年度から使用する教科書選定のうごき

神奈川県教科用図書選定審議会は15日、県立の中高一貫校である平塚中等教育学校の歴史教科書を、「つくる会」系の育鵬社とする答申案を承認しました。

県立学校の教科書採択権は県教育委員会にあります。神奈川県では学校ごとの希望を尊重しているため、県教育委員会で採択されるのではとの見方も出ています。

朝日新聞 7月16日付「教科書を考える」から抜粋

県教委から各教科書の資料を各学校に送り、平塚中等の校長と教員らが協議した結果として育鵬社を希望する回答が審議会に届いたという。もう一校の県立中高一貫校、相模原中等は歴史に日本文教出版を選んだほか、両校の希望教科書は、ほとんどの教科で異なった。

審議会では育鵬社が選ばれるまでの議論の過程や、両校が目指す教育理念の違いなどを明示してほしいという要望が委員から出た。

このため「公正な採択には議論の透明性が大切」と答申に詳しい説明を添えることが決まった。

今後、加筆された答申をもとに、県教委が判断する。



自由社・育鵬社版の公民・歴史教科書はここが問題

文部科学省は、2012年度から使われる中学校と高校の教科書検定の結果を発表しました。

その中で、侵略戦争を美化する立場の歴史教科書が2種類合格しました。

一つは、「新しい歴史教科書をつくる会」(藤岡信勝会長)が主導した「自由社」の歴史教科書。

もう一つは、同会から分裂した「日本教育再生機構」(八木秀次理事長)が主導した育鵬社(扶桑社の子会社)の歴史教科書です。

両社がそれぞれ出した公民教科書も合格しました。

両社の歴史教科書に共通するものは、過去の太平洋戦争が「自存自衛」の戦争であったとする点です。

さらに「戦争初期のわが国の勝利は、東南アジアやインドの人々に独立への希望をあたえた」というように日本の戦争がアジアのためであったかのように強調しています。

中学校 教科書の比較

	自由社	育鵬社	東京書籍 (現在使用)
太平洋戦争	P230~231 タイトルを「大東亜戦争(太平洋戦争)」としている。「この戦争は『自存自衛』のための戦争であると宣言した。」と記述し戦勝や快進撃の写真が記載されている。「日本軍は武器・弾薬に限りがある中で苦しい戦いを強いられたが、日本の将兵はこの戦争に国の将来がかかっていると信じ、よく戦った。」と自画自賛。	P214~215 タイトルは「太平洋戦争(大東亜戦争)」としているが、「この戦争を「自存自衛」の戦争であると宣言したうえで、大東亜戦争と名付けました。」としているところと同様。	P192~193 「中国との戦争が長期化していた日本は、東南アジアの地域の資源を獲得するために進出。」 「日本が侵略した東アジアや東南アジアでは戦場で死んだり、労働にかり出されたりして、女性や子供をふくめて一般の人々にも、多くの犠牲を出しました。」と戦争拡大の原因や戦争の犠牲について記述。
日本国憲法	P245 「GHQの示した憲法草案を天皇の地位を存続させるためにやむを得ず受け入れた」とし、押し付けられた憲法とする記述。	P231 自由社と同様な記述。	P205 「政府はGHQが示した案をもとに、新しい改正案を作成しました。」と記述。

今年も平和事業がいっぱい
みんなで平和について語りましょう

平塚市平和推進事業

月日	企画	時間	場所	備考
7月1日(木)～ 8月30日(火)	特集展示 平和の本	9:00～17:00	図書館(中央・北・ 南・西の4館)	平和・戦争・核などに関する 資料を特集展示
7月9日(土)～ 8月14日(日)	目録「平和の本」配布	9:00～17:00	図書館(中央・北・ 南・西の4館)	1年間に受け入れた平和・ 戦争・核などに関する資料 の目録を配布
7月9日(土)	平塚空襲の体験をきく 会	10:00～ 12:00	岡崎公民館	講師 江藤巖さん、杉山 喜一さん
7月11日(月)～ 7月19日(火)	平和普及展	8:30～17:00	市役所ホール	平塚空襲パネル展
7月16日(土)	空襲の日 市民キャンペーン	10:30～ 11:30	平塚駅北口・南口 周辺	空襲のパネル展、ポストカ ード配布。
7月16日(土)	署名行動	10:00～ 12:00	平塚駅北口周辺	原爆パネル展 核兵器全 面禁止アピール署名
7月22日(金)	平和のつどい「どこま で広がる放射能汚染」	10:00～ 12:00	ひらつか市民活動 センター	お話 村山俊夫さん
7月30日(土)～ 9月8日(木)	平塚空襲展	9:00～17:00	博物館	空襲に関する資料を展示
8月2日(火)～ 8月8日(月)	原爆と人間展	8:30～17:00	市役所ホール	原爆の絵などを展示
8月5日(金)～ 8月7日(日)	市民広島派遣		広島へ	小学4年～中学3年までの 親子10組を派遣
8月6日(土)	平和を語りつぐ	10:00～ 16:00～	八幡山の洋館 「水交社」	沖縄の話、在日韓国人2世 の戦後、戦争体験など
8月7日(日)	平和映画会	10:00から	中央図書館	
8月6日(土)・ 8月9日(火)	署名行動	17:30～ 18:30	平塚駅北口周辺	憲法9条を守る・核兵器全 面禁止アピールの署名
8月14日(日)	平和映画会	10:00から	中央図書館	
8月14日(日)	市民平和の夕べ	18:30～ 20:00	総合公園 中央大池周辺	灯ろう流し、すいとんの試食 会、折鶴コーナー、平和映 画上映など
8月21日(日)	平和映画会	10:00から	中央図書館	

石巻市に救援ボランティアに 行ってきました

報告：松本



7月11日～13日、5人の
党と後援会のメンバーで石巻
市に救援ボランティアに行っ
てきました。片道7時間、着い
た日は被災した現地を案内し
ていただき、日和山から見た
光景は忘れることができません。

一日も早い復興を願うとと
もに、滞在の短い時間を有効
に働こうと決意。

翌日は、全国から送られて
きた日用品や食糧、衣類な



上は仮設住宅の方々に衣類などを届けていると
ころ。 下はヘドロと格闘しているところ。



どの支援物資をトラックに積んで、市
内各地に点在している仮設住宅へ。
被災者は仮設住宅に移ると一切の支
援が切られ、厳しい生活を余儀なくさ
れています。

4か月たった今も、義援金が渡され
たのは35万円のみ。

「ハッポースチロールじゃなく、食器
で食事をしたいけど買えない」「毎日暑
いけど、お金が心配でクーラーなんて
使えない。」「前の家のローンがまだ残
っているんですよ。。」

すべてを流され、仕事にも就けない
方々に、こうして物資を届けながら要
望や悩みを聞いて、報告することはと
ても重要なことでした。

3日目は「泥出し隊」を希望。

腐敗した魚介類と流れて来た様々
なゴミが絡み合い、異臭が漂いハエが
大量発生しています。炎天下の中、分
別してヘドロを袋に詰める仕事は過酷
そのものですが、1か所のヘドロが
片づいた時の達成感は何とも言えま
せんでした。